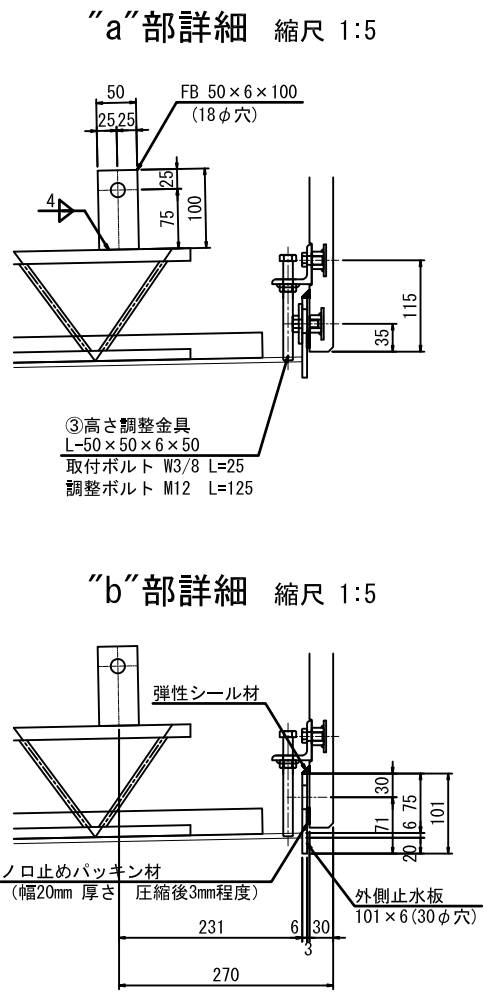


縮尺 1:10



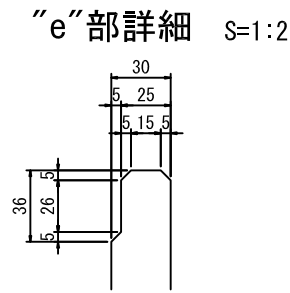
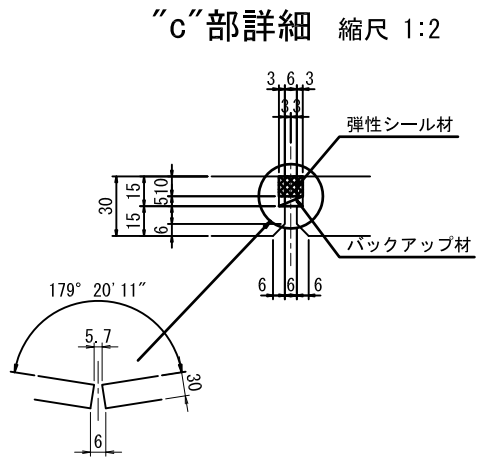
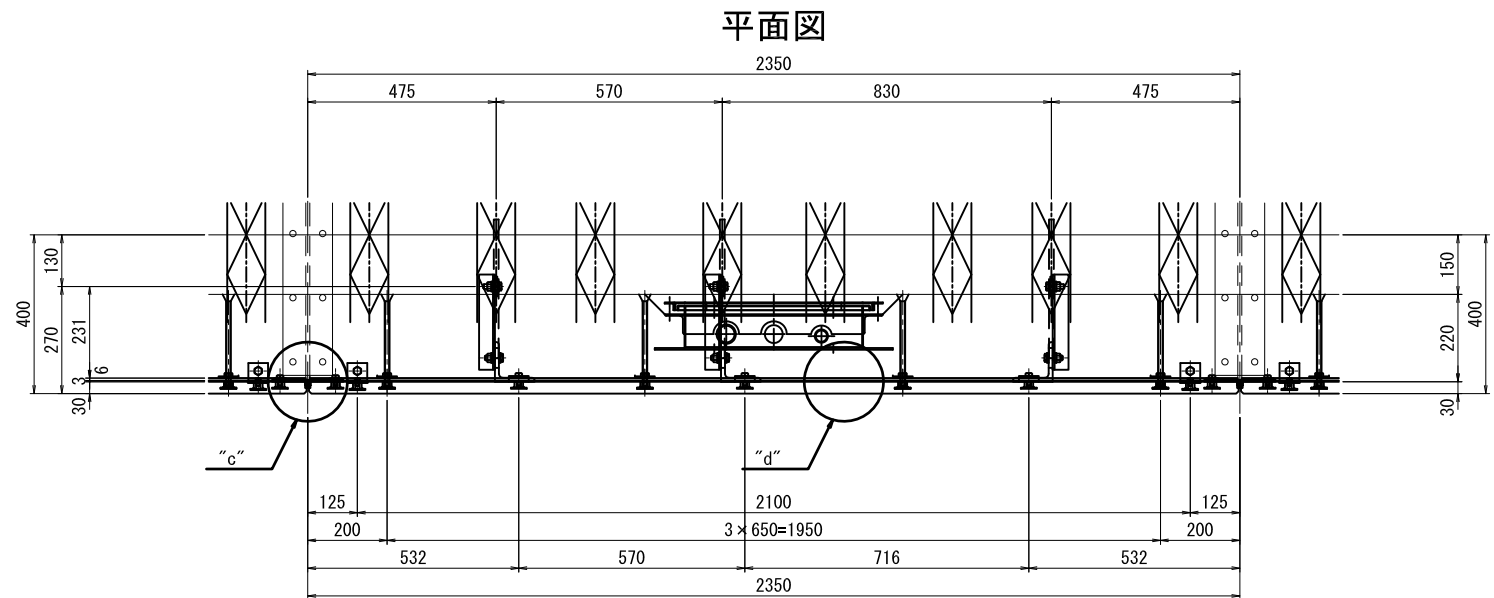
“d”部詳細 S=1:5

R=200.0m
道路中心

コンクリート製型枠

2350

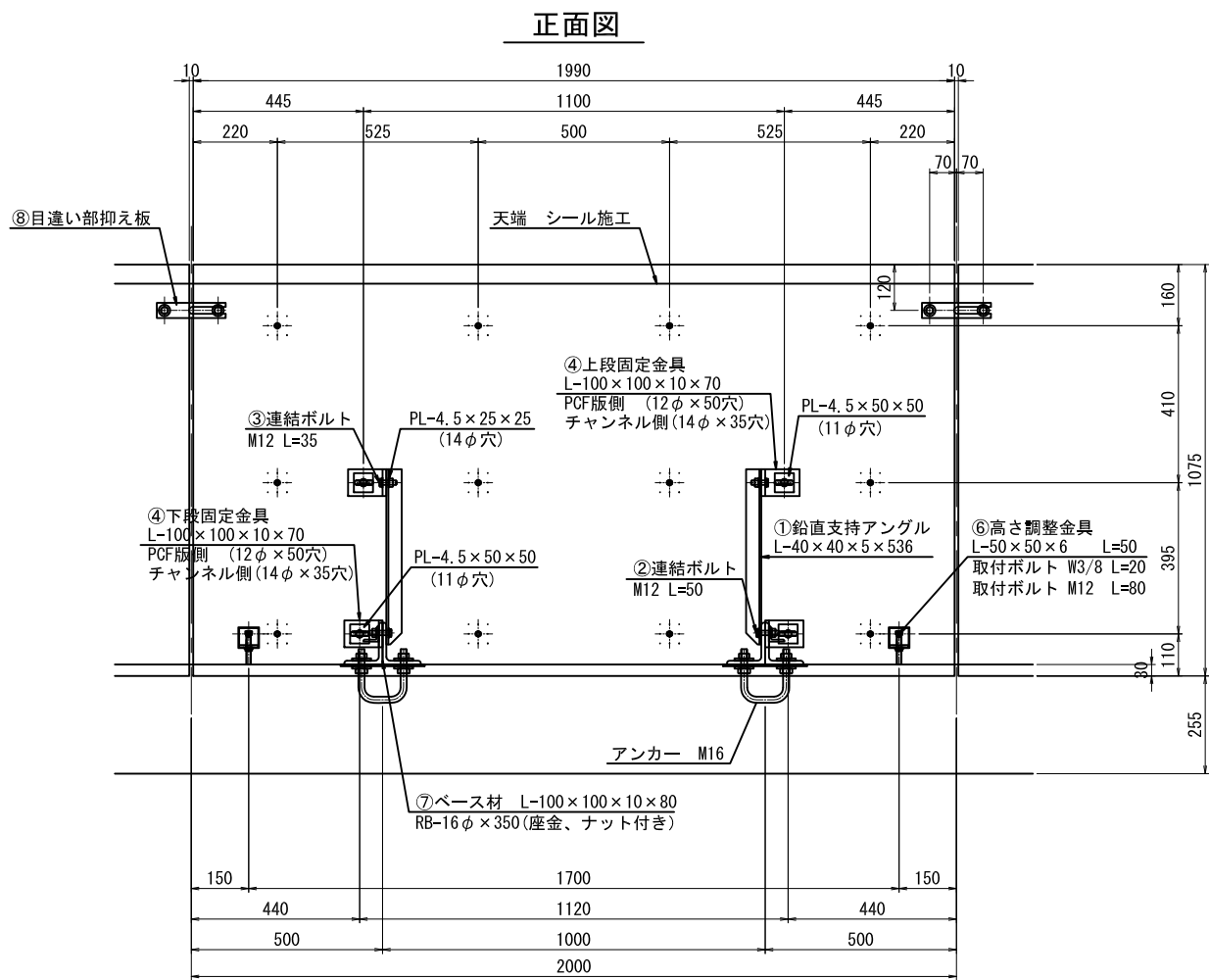
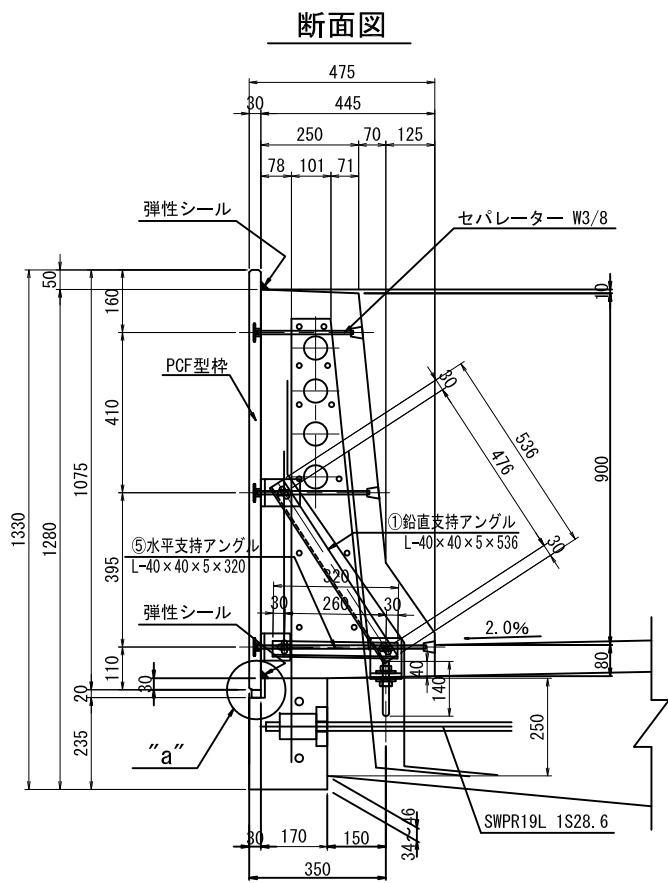
地覆外縁
R=202.875m



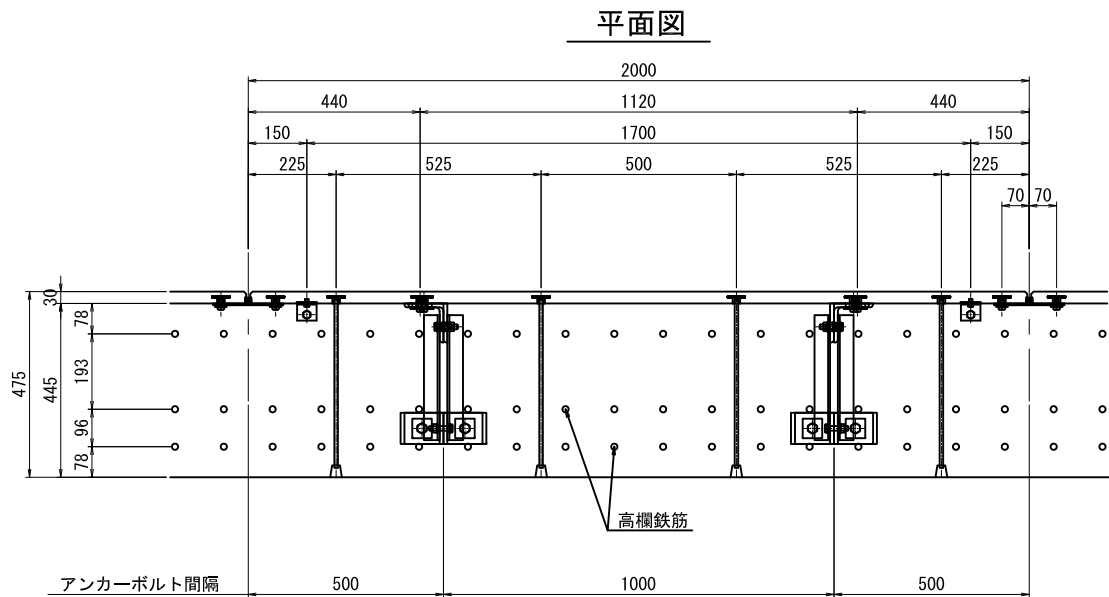
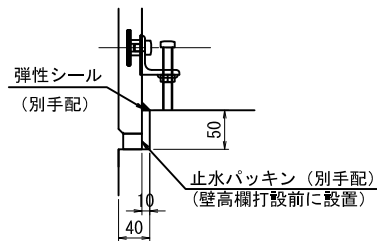
- 【注記】 現場施工時の注意点
1. セパレータは、間引いてはならない
 2. 内側の木製型枠の固定は橋軸方向に連続構造(単管をラップさせるなど)とする
 3. 桁連結、高さ調整後にコンクリート製型枠の通りを調整すること
 4. 図面以外で、ロ漏れが発生すると予想される箇所はシール施工すること
 5. 特記なき部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、その規格はJIS H 8641 HDZ55
ボルトはHDZ300とする
 6. 特記なき材質はSS400とする。

設計図	平成 年度	設計年月日	平成 年 月 日	咫尺	1:10	番号	
	業務名						
	路線名						
	図 名	壁高欄コンクリート製型枠 R側横断面					
	設計者	三菱・駒井ハルテック・日橋建設工事共同企業体					
	担当部署						
	平成 年度	管理番号		図面番号			
	工事名						
	施工者名						
	工 期						

壁高欄PCF型枠標準図 S=1:10



"a"部詳細 S=1:5



(注記)

- 現場施工時の注意点
- セパレータは、間引いてはならない
 - 内側の木製型枠の固定は橋軸方向に連続構造(単管をラップさせるなど)とする
 - 桁連結、高さ調整後にPCF型枠の通りを調整すること
 - 図面意外でノロ漏れが発生すると予想される箇所はシール施工すること
 - 特記なき部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、その規格はJIS H8641 HDZ55 ボルトはHDZ35とする
 - 特記なき材質はSS400とする。

工事名			
図面名	壁高欄PCF型枠標準図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	/
会社名			
事業者名			